

平成 29 年度 I C T 活用促進研修—実施報告—

開催日時：平成 29 年 12 月 9 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分

開催場所：徳島県看護会館新館研修室

テーマ：I C T 活用による多職種連携で実現する地域ケア
～多職種をつなぐバイタルリンク活用の実際～

講師：あおぞら内科訪問看護ステーション管理者
訪問看護認定看護師 特定行為看護師 吉野 牧子 氏

参加者：6 名 事務局：3 名

【本日の研修内容】

1. 講義 「I C T 活用による多職種連携で実現する地域ケア
～多職種をつなぐバイタルリンク活用の実際～」
2. 情報提供 「バイタルリンクの紹介」 情報提供者 帝人ファーマ株式会社



【受講動機】はじめにそれぞれの参加動機を話してもらった。

A S T 管理者 運用している：タイムラグがあるがどのように対処しているか

B S T 看護師 運用している：医師は使い慣れていない。

どのように活用しているか知りたくて参加した。

C S T 管理者 運用していない：連携して、活用している状況を知りたくて参加

C S T 看護師 運用していない：少しでも参考になればと思い参加

D 居宅のケアマネジャー 運用していない

D S T 管理者 運用していない：前職で導入していた。情報の共有には便利だった。

今年 7 月にステーションを開業

新情報が入れば、知らせてくれる機能があれば

【講義内容】

在宅医療を取り巻く状況は、多職種と言うだけでなく、多事業所が関わっている。また、職種も医療・介護関係のみでなく、行政や福祉用具等の業者等も含まれる。さらには患者会やボランティアの団体が含まれる場合もある。多職種・多事業所が関わる中で、患者の医療依存度は、ますます高まり、在宅で行う医療行為も高度となっている。

そこで、事例を通して、バイタルリンクを用いることで情報共有が容易になっていること、多職種・多事業所でコミュニケーションをとるために、バイタルリンクは有効なツールであること等紹介があった。

【多職種連携情報共有システム バイタルリンクの特徴】

帝人ファーマ株式会社より「バイタルリンク」の情報提供があった。

- ・バイタルデータ管理機能：バイタルデータを一元管理
- ・日常生活、療養状況評価機能：患者状態を5段階の評価でアイコン入力
- ・連絡帳機能：病状の写真や各種報告書等の画像を添付して送付
- ・おくすり情報機能：共有による服薬管理
- ・カレンダー機能：多職種メンバーのスケジュール管理
- ・カルテ情報などの患者情報の登録・共有



【スマートフォンを使った操作練習】

